

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取り組み

1. 工事規制計画の工夫

(1) 工事期間の設定

工事期間を設定するにあたり、お客さまへのご迷惑を最小限とするため、迂回ルートとなる路線で実施予定の集中工事、その他イベントなどと重複しないよう設定いたしました。

(2) 工事の実施方法と規制方法の工夫

本工事では、3車線の道路幅に横断的に設置されている伸縮装置を取り替えます。この場合、一般的な工事の実施方法では昼夜を通してご利用いただける車線数を3車線から1車線とする必要がありますが、本工事では、交通量の多い時間帯は2車線ご利用いただけるよう、伸縮装置の設置方法の見直しや車線シフトによる2車線確保など工事の実施方法と交通規制の方法を工夫しています。工事期間中は走行する車線の幅が狭くなっていますので、十分注意してご走行いただきますようお願いいたします。



(3) 工事の集約による交通規制回数の抑制の工夫

本工事とあわせて道路の維持修繕作業や点検作業などを実施することで年間の作業を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫いたしました。

2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイトにおいて、最新の交通規制予定について情報提供させていただきます。

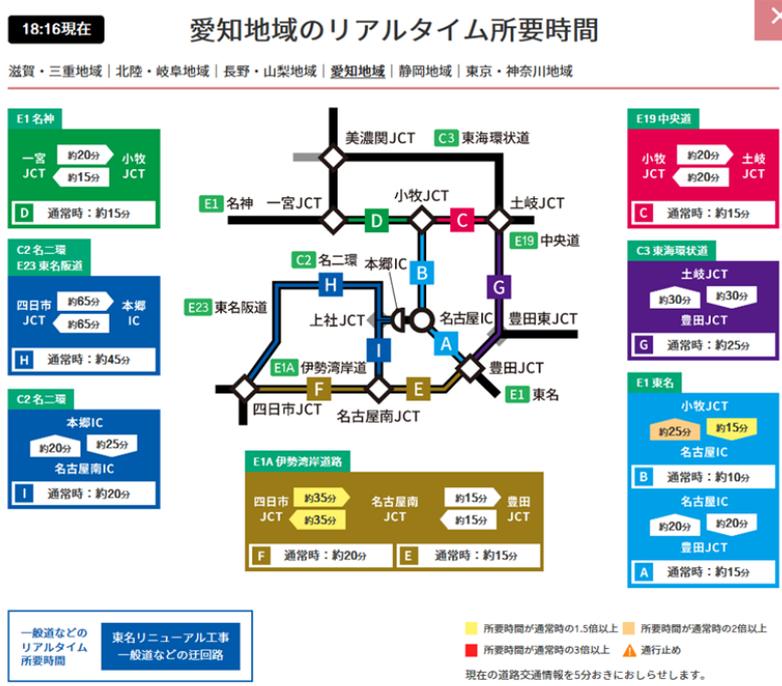
工事期間中は、休日夕方を中心に渋滞が予測されますので、お出かけ前に伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイト・ポスター・リーフレットなどの情報を参考にいただき、東名や名神などへの迂回やお出かけ時間の変更などをご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

<伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイトにおける主な情報提供の内容>

(1) 通過所要時間のご提供

走行ルートの選択やお出かけ時間の変更をご検討していただけるよう、最新の所要時間情報をご提供させていただきます。

(伊勢湾岸道リニューアル工事の専用 WEB サイトでの掲載イメージ)



※所要時間は、交通状況の変化などにより実際の所要時間とは異なる場合があります。

(2) 主な迂回ルートのご案内

迂回ルートの走行をご検討いただけるよう主な迂回ルートの情報をご提供させていただきます。

3. 高速道路を走行されているお客さまへの情報提供の強化

(1) 迂回ルート分岐手前での情報提供の強化

工事期間中は、高速道路を走行するお客さまへルート別の所要時間情報を提供するため、迂回ルートへの分岐点手前には、仮設情報板を設置いたします。走行ルートを検討される際にご活用ください。

(仮設情報板の設置状況・交通情報提供のイメージ)



(2) 一般道での情報提供の強化

主要道路沿線の「道の駅」などに伊勢湾岸道リニューアル工事専用 WEB サイトを案内するポスター・リーフレットを設置します。伊勢湾岸道リニューアル工事専用 WEB サイトでは、最新の交通状況などを提供しておりますので、迂回ルートの選択の際にご活用ください。

■ 安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

1. 工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故の防止

(1) 渋滞末尾警戒車の配置

工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞状況に応じて適切なポイントとタイミングで注意喚起をおこなうため、工事規制箇所の手前もしくは渋滞末尾付近の路肩に標識車を配置させていただきます。

(渋滞末尾警戒車の配置例)



(2) スピードの出しすぎを抑制する対策

工事規制箇所や渋滞末尾での減速や急ブレーキなどによる追突事故防止のため、あらかじめ先頭誘導のための警戒車両として、視認性の高いセーフティーカー(ペースカー)を走行させます。お客さまの安全のためにも、セーフティーカー(ペースカー)の走行にご理解とご協力をお願いいたします。

(セーフティーカー(ペースカー)走行のイメージ)



(3) 事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために交通規制区間に設置した渋滞計測機器を活用し、24 時間体制で道路状況を監視するとともに、情報板や渋滞末尾警戒車でリアルタイムの情報をお知らせいたします。

(24 時間監視の実施イメージ)

